

JENESYS 日本・東ティモール救急・防災・ビジネス・起業交流 (招へいプログラム) の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

東ティモールの社会人 8 名が、1 月 20 日～1 月 27 日にかけて、日本における救急対応や防災分野の取り組み、ビジネスや起業に関して理解を深め、両国間でアイデアを共有・発展させることを目的に訪日しました。一行は東京都及び宮城県を訪問し、日本での講義・視察、また日本人との交流・意見交換等を行い、両国間の関係を強化するとともに、プログラム中の体験や学びの成果、また訪問地の魅力に関して SNS を通じて発信を行いました。

【参加者】東ティモールの社会人 8 名

【訪問地】東京都 8 名、宮城県 8 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

2026 年

1 月 13 日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」「愛知の魅力～産業、最先端技術～」「日本文化理解（京都）」「広島ピースツアー」「日本語」

■ 招へいプログラム:

2026 年

1 月 20 日（火曜日） 成田国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

1 月 21 日（水曜日） 【テーマ関連視察】東京消防庁 深川消防署

【テーマ関連視察】Tokyo Innovation Base (TIB)

1 月 22 日（木曜日） 【テーマ関連視察・体験】本所防災館

【視察】浅草、東京スカイツリー®

東京都から宮城県へ移動

1 月 23 日（金曜日） 【テーマ関連視察】株式会社宮城リスタ大川

【テーマ関連視察】石巻市震災遺構門脇小学校

1 月 24 日（土曜日） 【ホストファミリー対面式・ホームステイ】加美町

1 月 25 日（日曜日） 【ホームステイ】

【ホストファミリー歓送会】

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、
帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

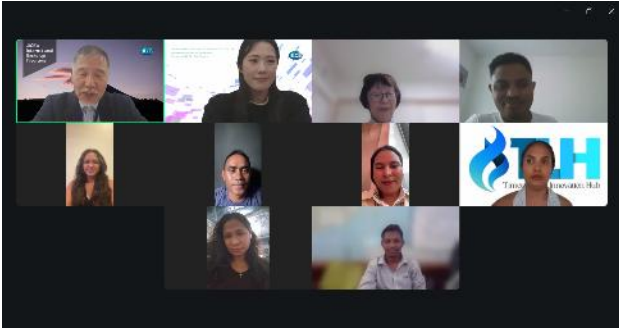
1 月 26 日（月曜日） 宮城県から東京都へ移動

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

1 月 27 日（火曜日） 成田国際空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）・招へいプログラム

	
2026 年 1 月 13 日【来日前オリエンテーション】	2026 年 1 月 21 日【テーマ関連視察】 東京消防庁 深川消防署
	
2026 年 1 月 21 日【テーマ関連視察】 Tokyo Innovation Base	2026 年 1 月 22 日【テーマ関連視察】本所防災館
	
2026 年 1 月 22 日【視察】 浅草、東京スカイツリー®	2026 年 1 月 23 日【テーマ関連視察】 株式会社宮城リスタ大川

	
2026 年 1 月 23 日【テーマ関連視察】 石巻市震災遺構門脇小学校	2026 年 1 月 23 日【ホストファミリー対面式】
	
2026 年 1 月 24 日【ホームステイ】	2026 年 1 月 25 日【ホストファミリー歓送会】
	
2026 年 1 月 25 日【ワークショップ】	2026 年 1 月 26 日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

Tokyo Innovation Base では、テクノロジーを活用したソリューションや製品の展示を通じて、日本がスタートアップをどのように支援しているかを知ることができました。そして、イノベーションがいかんして実社会へのインパクトに変わるかを実感し大いに刺激されました。

被災した宮城県石巻市大川地区への訪問では、困難からの復興の大切さを学びました。どのような困難の中でも、前に進んで行かなければならない、ということをお大川の皆さんに教えていただきました。加美町でのホームステイでは、書道で漢字やカタカナを習ったり、着物や剣道の胴着も着せていただいたりしました。温かいご夫婦とともに、日常の生活を体験することができました。雪も降っていましたが、ホストファミリーの歓迎は、本当に心温まるものでした。

◆ 社会人

Tokyo Innovation Base では、起業家を志す人の成長を支援し、新しい取り組みを誘致し、社会的・経済的課題に対する解決策を提供するというその機能に大変感銘を受けました。

本所防災館には日本の小学生も来ており、災害時に身を守る方法と、災害への備えについて学んでいました。日本は何度も大きな災害を経験するたびに、経験から学び、次に活かしています。防災館の役割は重要だと思いました。

◆ 社会人

津波で被害を受けた小学校を訪れた時、あのような災害を経験したにも関わらず、そこに住む人々が自分たちの国を愛し、あの場で起こったことを忘れないために活動をしていることに胸を打たれました。そして、宮城県石巻市のリスタ大川という企業は、津波の被害にあった地元に可能性を見出し、前を向いて取り組んでいます。起業して間もないですが、オリーブの栽培ビジネスに大きな期待を感じました。また、石巻市の新しい産業として発展させていく可能性を見据えている姿が印象的でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

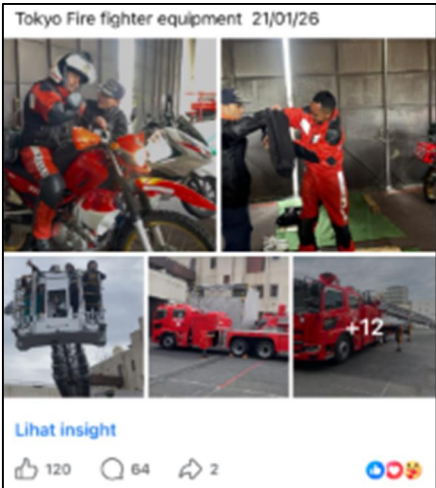
◆ ホストファミリー

東ティモールにおける大家族のルール（食後の皿洗いは子どもの仕事）など面白いお話をたくさんうかがいました。参加者は何か国語も話すことができて感心しました。

◆ ホストファミリー

コミュニケーションがとれるか心配でしたが、東ティモールの方々が明るく、コミュニケーションを取ろうとしてくれて楽しく過ごす事ができました。日本についてとても興味を持って参加されて、チャレンジ精神がとても旺盛なところが印象的でした。

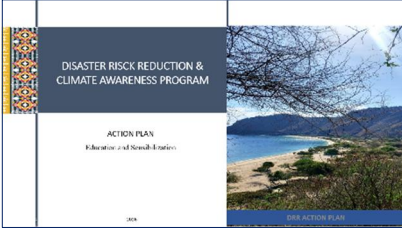
5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2026 年 1 月 21 日（Facebook） 社会人 東京都消防隊員の装備	2026 年 1 月 21 日（Instagram） 社会人 JENESYS 日本・東ティモール 救急・防災・ビジネス・起業交流の様子

	
2026 年 1 月 22 日 (Facebook) 社会人 東京で最も古く有名なお寺、浅草寺にて。	2026 年 1 月 22 日 (Instagram) 社会人 漢字やカタカナを教えてもらい、剣道着を着せてもらいました。 日本の文化、日本人が大好きです。訪日の機会を与えてくださったことに感謝します。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、宮城県 全 2 グループ発表

グループ A（救急・防災）		
		
【成果の発表】 私たちは、起こり得る自然災害について予め備え、気候変動について自覚することがとても重要であると学びました。 【アクション・プラン】 日本での学びを活かし、災害リスクの高い地域の選定を行い、同エリアの大人から子どもまで啓発活動を実施します。そうすることで、火災や洪水などの災害を減らし、被害に遭う人々の数を減らすことができます。2月から3月の間にこのプランを実施します。		

グループ B（ビジネス・起業）



【成果の発表】

◆ 来日前の日本の印象：

①礼儀正しく謙虚 ②勤勉で規律正しい ③自国の文化を大切にしており、目的主導

◆ 訪日後の日本の印象：

① 革新的 ②未来的思考 ③目的主導、意義優先

④イノベーション、新たな価値を生み出すネットワークが効率よく機能している。

【アクションプラン】

「ビジネスの架け橋：ビズブリッジ 1.0 –東京で学んだ精神を活かしてディリのイノベーションを構築–」

2026 年 3 月 20 日に東ティモールのディリで、ビジネスネットワーク構築を目的としたカクテルパーティーを開催します。メンバー全員が協力して、企画及び拠点の立ち上げを行います。対象者は JENESYS の過去の参加者、起業家、商工会議所、国際機関などを想定しています。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）